

☆ イベントがいっぱい!!



♪地元 たちばな幼稚園の園児たちの演奏だよ!!

この秋、風良里ではイベントがいっぱい。11月14日(水)には、秋の火災予防運動の一環として防火啓発活動行事があり、風良里からほど近いたちばな幼稚園の園児たちが、ここ南国市のご当地ヒーロー ゴメンジャーから火事を出さない、また火事になったらどうするか等のお話を聞いたり、上記画像の演奏を繰り広げたり大活躍。元気一杯のちびっこパワーで風良里も満たされました。

♪がんばれ、地域の子供達!!

猫のしっぽ 画期。-的というのと、それまでとは全く一線を画すような新たな動向、時代を開くという意味で、エポックメイキングとも言われます。私、風猫子の中での時代的な画期は1970年。学園紛争が終息に近づき、大阪で万国博覧会が開催された年。当時小学校5年で少しずつ世の中の現実にも触れ始め、その後、戦後日本の転換点となったのもこの頃ではないかと考えていました。先日それについて良いヒントとなる本を発見。日本SF史上に残る大作家小松左京の著書『やぶれかぶれ青春期・大阪万博奮闘記』新潮文庫-がそれ。戦中から戦後の歩みの中で当時の空気を感じられる好著です。当時住んでいた窪川(現四万十)町から土佐佐賀への難所『片坂(かたさか)』も、先週17日にバイパスが開通。こちらは50年近くを経て県西部交通の画期となりました。風猫子